

シジュウカラ子育て日記②（終） 2025/4 斧原 （前の大鳥アラバムは「会員の寄稿」へ移動）



今日は4月7日。そろそろ卵を温め始める頃。

今年は、下のようなスケジュールの子育てになりそう。

4/1~7 (産卵) 一般的に産卵は毎日1個ずつ8~9個くらい。

4/8 (抱卵開始) すべて生み終わると抱卵（メス）。12~14日で孵化

4/20~22 (孵化) ヒナがかえると餌運びが始まる



4/7 メスが小刻みに羽を震わせている。
求愛？ おねだり？

メスのしぐさにオスも羽を震わせて、これまでみたいに後から近づいたら、いきなり怒られた。オスはびっくり飛び上がる。もう卵は産み終えたようなので、「そっちはもうおしまい。頑張ったご褒美は！？」とでも言いたいのかな？



3月下旬
巣作り中の
メスが羽を
震わせたら
オス(上)が
虫をプレゼントした

4月8日
抱卵開始

4月12日 オスは抱卵中の
メスにときどき食べ物を運ぶ



4月11日

抱卵中のメスへ給食。
巣の中で渡すこともあれば
外へ誘い出すこともある。



4/13 クモを捕ってきた

4/16 美味しそうな
ふりっぷりのアオムシ
を捕ってきた



4/7 オスは見張りをしながらツーピー、ツーピー、ツーピー、ツーピー。ひまなのか羽繕いをしている。



抱卵中でも、メスはときどき（1回/時間）休憩して外出する。卵は大丈夫なの？



4/16 巣穴から顔を
出してから出るまで
少なくとも2~3分
はキヨロ、キヨロと
外を見ている。
安全確認よし、Go！



4/20 食事休憩中



4/19 今日は異常に暑い
口を開けてハアハア。
巣に入る時も、十分に
安全を確認してから入る。



4/19 ときには揃ってお食事も

4/20 卵が孵化したらしい。午後から2羽で小さなアオムシを運び込み始めた。1時間に4~5回くらい。



4月22日 オス・メスともエサを運んでこない。巣箱に入らなくなった。何があった? 子育てをやめた!?

4月23日 朝から何度もメスが来て、巣箱の中を覗いては去り、また来る。「もしや」との思いなのか?



4月24日 全く姿を見せない。子育てを諦めたと判断して、巣箱の中を確認した。巣はまあまあの出来だけど、未熟卵が3個、殻が一個残されていた。ヒナはどこへ?。原因は不明。一般に卵は8個というけれど、ここでは4個。まだ親が経験不足だったかな



シジュウカラ語の研究で有名な鈴木俊貴先生によると、自然の中では天敵も多く子育ての成功率は5割程度とか。

残念だけれども、巣立ちの瞬間を見るのは、また次の機会に。今年のシジュウカラ子育て日記はこれで終わります。

いま、春本番。巣箱がある姫リンゴの木は花を咲かせ、蜂や蝶たちが飛び交っていた

